



記者発表資料	
令和2年2月14日	
担当課 (担当)	危機管理課 横尾
電 話	20-3126 (内線 7080)

防災ラジオの販売開始について

概要

本市では、現在、緊急情報の発信手段として、主に防災行政無線を使用しています。その整備手法は、屋外スピーカーの設置を中心とするものであり、住家の気密性が高まったことなどの影響により、音が聞き取りにくく、改善を求める多くの声をいただきました。そのため、新たな緊急情報の伝達手段として、コミュニティFMの電波を活用し、防災行政無線やJ-ALERTなどの緊急情報伝達装置と連動する防災ラジオを整備することとしました。

販売の仕組み

防災ラジオは、市内の家電量販店や地域の電気店などの店頭で購入していただくこととなります。

※市役所庁舎では販売しません。

- 1 販売開始 令和2年4月1日
- 2 販売価格 2,000円/台(税込)
- 3 販売店舗 募集中(決定後、HP・市報等でお知らせします。)

次の募集要件を満たす販売希望事業者を随時募集しています。

- (1) 市内に本店を置き、かつ、鳥取市「物品・役務等競争入札参加資格」の電気通信機器類について資格を有すること。
- (2) 令和2年4月1日から1年以上継続して防災ラジオを販売することに同意できること。

自動起動する内容

- 1 自然災害に関する情報 (緊急地震速報、大津波警報、大雨特別警報等)
- 2 国民保護に関する情報 (弾道ミサイル、ゲリラ、大規模テロ航空機攻撃等)
- 3 避難に関する情報 (避難指示(緊急)、避難勧告、避難準備高齢者等避難開始等)

特徴

1 自動起動機能

- ・緊急情報を受信すると、電源OFFや他局の聴取中に関わらず、自動的に最大音量で機器が鳴ります。
⇒防災行政無線と完全に同じ内容が、連動して同時に放送

2 持ち運びが可能

- ・外に持ち出せるよう、コンパクトで、電池での動作が可能で、耐水性の高い仕様です。
⇒垂直避難時の部屋移動や避難所への移動など持ち運びに対応(移動中の車内等でも受信可能)^{※1}

3 ライトの点灯機能

- ・緊急放送の受信と同時に、内蔵ライトが点灯します。
⇒音声情報の取得が困難な方に、緊急事態の発生を視覚的に光で伝達

4 緊急放送の録音機能

- ・緊急放送の内容を自動で録音します。
⇒内容を聞き逃した等、再度確認したい場合に対応

5 その他

- ・1～4の機能以外は、市販のラジオと同様に使用できます。

※1 受信可能な場所は、FM鳥取の可聴エリアに依存します。

FM鳥取の災害時情報提供活動について

鳥取市では、災害時のFM鳥取のラジオ放送について、防災ラジオの緊急放送以外にも、被災者に対するきめ細かい生活関連情報等の放送を行い、地域住民への安心安全に貢献するよう、相互協力する旨の覚書を締結しています。